

被保護者及び生活困窮者就労準備支援事業

生活支援相談センターごうつ

基本的な支援の姿勢について

支援対象者の基礎的な能力・希望・家庭環境・生活歴等を丁寧に把握し、支援対象者に適した支援計画を作成し、就労に向けて効果的な支援を行います。特に居場所、就労体験、職業訓練を重視し、個々のニーズに応じて継続的・連続的に支援対象者が自立に向かえる環境を構築します。セミナー等の多様な自立支援メニューと、支援対象者等との適切なマッチングを行います。

○就労ボランティアコース

ボランティア活動を通して、生活リズムを構築し、人との関わり合いを持ち、グループ交流や役割分担を通じて改めて社会性を身につけていただきます。また、セミナー等を受講していただくことにより、就活に対する前向きな気持ちや自信を高め就労へのステップにつなげる支援をします。稼働年齢層の方で就労まではすぐには難しいと思われる方の中で、週2回、1日2時間程度の活動に参加出来る方を対象とします。

○中間的就労支援コース

稼働年齢層で就労に前向きな方の個々の適性等を見極め、本人に応じた多様な支援を行います。基礎マナー・ビジネスマナー・履歴書作成・模擬面接などのセミナー、職業訓練、就労体験など段階的に、またハローワーク同行、面接同行など、支援員が伴走し就職活動を繰り返しながら、支援プログラム確認書を用いて、本人とケースワーカー、支援員の3者で目標を共有し、就労を目指します。また就職後の定着まで支援します。

・就労体験

就労体験を通じて、職業ブランクを埋め、就労に対する自信をつけていただきます。実際に協力事業所の職員と働く事により、人とのコミュニケーションや職場の雰囲気、仕事内容を体験していただきます。一日6時間程度、最長10日間の職業体験を基本として、本人と受入事業所の合意が出来れば、そのまま就労していただくことが可能です。

・職業紹介・斡旋について

ハローワーク求人以外にも独自で求人開拓を行い、通常の勤務条件では就労が困難と思われる支援対象者でも比較的就労が可能で、勤務条件など融通をお願いできる事業所など、支援対象者の働き方にマッチした求人開拓を行います。職業紹介事業所としての認可も受けています。

・定着支援

勤務先・自宅訪問など就職後の悩みや不安の解消にも努め、定着支援も行います。

【就労ボランティア活動】

支援対象者が自信やコミュニケーション力をつけてもらう為に、ボランティアの活動先を開拓する際は支援対象者の過去の職場経験や能力を活かせる作業を考慮してきました。週2回の活動へ参加していただき、生活習慣の改善や就労する為の体力をつけ、中間的就労支援へステップアップします。また場合によっては、自立した行動を促す為の自主ボランティアという活動もあります。